

※アーカイブ配信 本セミナーは 2022 年 11 月に配信したセミナービデオです

最新の冷媒問題への対応と展望 2022

CPDポイント 6

主催：(公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会

協賛：(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)日本冷凍空調工業会、

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一財)日本冷媒・環境保全機構

Web セミナー（オンデマンド配信）：2023 年 5 月 16 日（火）～5 月 30 日（火）

定員：なし

パリ協定、モントリオール議定書キガリ改正の HFC 削減スケジュールを実現するためには、微燃性冷媒や自然冷媒を積極的に活用していく必要があります。

2020 年 10 月には、「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、さらに 2021 年 4 月に開催された気候変動に関する首脳会議(サミット)において、温暖化ガスの排出削減目標を 13 年度比で 46%減を目指すとの表明がありました。それまでの目標が 13 年度比 26%減であったことを考えると 7 割以上の引き下げであり、関係者から見ても挑戦的な目標であることは容易に理解できます。さらに 2022 年に指定製品として、ビル用マルチエアコンの追加が決まり、環境影響度の目標値 750、目標年度 2025 年となりました。今後、更なる新冷媒の検討が必要となる状況であり、今回はこれらの取組み状況と将来展望について紹介します。皆様ふるって参加されますようご案内申し上げます。

1 基調講演

1.1	冷凍空調用冷媒をめぐる最近の状況と展望	東 之弘 九州大学	約 60 分
1.2	代替フロンを巡る最近の動向と今後の展開	経済産業省化学物質管理課オゾン層保護等推進室 兒玉 歩	約 60 分

2 冷媒問題への対応

2.1	レトロフィットの課題と実現に向けた検討状況	宮下 哲司 高圧ガス保安協会	約 35 分
2.2	空調機国際安全規格の改定状況	橋本 均 (一社)日本冷凍空調工業会	約 35 分
2.3	生産削減の HFC 冷媒と法人・経営者の責務 ～改正フロン排出抑制法遵守に向けて～	作井 正人 (一財)日本冷媒・環境保全機構	約 30 分

3 次世代冷媒・機器開発の状況

3.1	e-3D スクロール圧縮機を搭載した高効率空冷 チラー「MSV2」	岡田 拓也 三菱重工サーマルシステムズ株式会社	約 35 分
3.2	グリーン冷媒 R474A の開発	後藤 智行 ダイキン工業株式会社	約 35 分
3.3	次世代冷媒の開発状況	石川 淳一 三井・ケマーズ フロロプロダクツ株式会社	約 35 分

参加費(税込)：本学会と協賛団体の会員 18,000 円 冷凍技士 10,000 円 非会員 25,000 円
会員学生 2,000 円 非会員学生 4,000 円

募集人員：無制限

申込方法：学会ホームページより申し込みください。

申込 URL → <https://jsrae-edu.org/>

WEB 配信予定日：2023 年 5 月 16 日（火）～5 月 30 日（火）

視聴受付は学会ホームページ（上記 URL）から開始し、5 月 23 日に申込を締め切る予定ですのでお早めにお申し込みください。（参加費のお支払い期限：5 月 23 日）

※ システム上、入金済になっていないとセミナー動画が視聴できませんのでご了承ください。

※※参加申込前に【[視聴環境確認ページ](#)】でテスト動画が再生できることを必ずご確認ください。

備考 1：受講する為には冷凍 CPD 会員の登録が必要となりますが、この登録は無料です。

備考 2：セミナー申込完了後に届く自動メールから「請求書」がダウンロードできます。
セミナー参加費の振込先銀行口座は請求書に記載されています。

備考 3：お振込み確認後、或いはクレジット決済で申し込まれた方には「領収書」を自動メールでお送りします。領収書も請求書と同様に WEB にてダウンロード、印刷できます。
この領収書は 5 枚集めることで年次大会へ 1 名無料で参加することが出来ます。
(有効期限：セミナー開催日から 3 年間)